

南大阪地域は大阪市と堺市を隔てる大和川以南、旧河内国南部と旧和泉国に相当する。古来、都に近く、海に面した地理的特性を背景にモノづくりが集積し、歴史とともに育まれてきた。古墳時代から、金属を加工して道具を作る「工業」が始まっていたと推定される。貿易拠点として堺が栄えた安土・桃山時代に、鉄砲鍛冶(かじ)をはじめとする各種技術、商品が集まり、今日の地場産業の礎を築いた。江戸時代には綿花の栽培が盛んで、綿織物が地場産品として普及すると、明治期の産業近代化によって機械化がもたらされ、紡績工場が立地。最盛期に「東洋のマンチェスター」と称された大阪の経済発展を支えた。工業化の過程で、自転車や軸受などの機械製品や部品製造が拡大。戦後の高度経済成長期には、沿岸部を中心に重化学工業の立地が相次いだ。伝統的な地場産業も品質と信頼をもって高い競争力を維持し続けている。最近では、産地を訪ねる観光「産業ツーリズム」による誘客も期待されており、工場や工房を一般公開する「オープンファクトリー」への関心も高い。産業学習施設の移転やリニューアルも相次ぎ、3月25日にシマノ自転車博物館(堺市堺区)、3月下旬に堺伝統産業会館(同)がそれぞれオープンする。

ベアリング

ベアリング(軸受)は「産業の米」とも呼ばれる機構部品。回転・可動部の摩擦によるエネルギー損失や発熱を抑え、焼き付きを防ぐ。自動車、鉄道車両から発電機、工作機械、ロボットといった産業機械や電子機器まで広く使われる。国内生産が始まったのは1910年代後半。当初は軍需用途だが、戦後は各種産業機器に搭載されて市場が拡大。堺市周辺にメーカーが集積した。地域に根付く鍛造技術に源流をみつけることもでき、地場産業の一つとも言える。

堺には自動車向け量産品よりも、産業機械やプラント設備などに使う各種ユニットを製造する企業が多い。中でも転がり軸受を設備固定用のハウジングと組み合わせたビロウ形ユニットは、戦後間もない時期に市内メーカーが手がけ、市場を牽引してきた。

軸受ユニットは顧客ニーズに合わせて、耐熱性や耐食性、防塵など厳しい使用環境下でも機械の信頼性を維持する製品が開発されてきた。メーカーにとって品質とともに開発力が武器となっている。

刃物

南大阪地域の伝統産業の代表格とされるのが「堺刃物」だ。経済産業省の「伝統的工芸品」にも指定。堺市は、新潟県三条市、岐阜県関市と並んで、刃物の三大産地の一つと位置づけられている。

堺は機械による大量生産ではなく、職人が手作業で仕上げる「打刃物」を得意としており、その製造工程は分業制だ。鋼を鍛えて包丁の形状にする「鍛冶屋」、それを磨いて刃を付ける「刃付け屋」、包丁を握る部分の柄(え)を作る「柄屋」、包丁に柄を付けて仕上げる「卸」。それぞれが受け継いできた技術を結集して、一つの製品を作り上げる。市内では今も専門業者の分業体制が継続する。

切れ味鋭い片刃の包丁が主流だが、調理する食材に合わせて、刃の長さや厚さなどの異なるさまざまな包丁が作られており、多くの和食料理人が、堺の包丁を愛用。昨今の和食ブームを背景に、海外でも非常に人気が高まっているところだ。

堺の包丁の起源は、古墳時代における各種金属道具の製造に、鍛冶技術の基礎を見つけていることができるが、直接のルーツは自治都市・堺が最も栄えていた16世紀と言われる。当時、ポルトガルからタバコが伝わり、国内でタバコの葉の栽培が始まったことで、葉を刻むための包丁「タバコ包丁」の生産が始まったとされる。堺のタバコ包丁は品質が優れていたことから、全国に普及。包丁の産地として名を轟かせた。

自転車

江戸時代末期に自転車が入り、その修理を担っていたのが「鍛冶屋」だった。普及台数の拡大に伴って部品製造を手がけるようになり、明治時代末期には国内生産が始まって、自転車部品を専業にする事業者も増えた。堺は鉄砲、包丁と地域の専門職人による分業のモノづくりが根付いている。自転車も一つのメーカーによる垂直統合ではなく、完成車を構成するさまざまな部品会社が現れて、協業を始めたのが発展のきっかけだ。専門分野に特化したメーカーが技術を切磋琢磨したことで、堺の自転車部品は品質が優れ、競争力の高い産業へと全体の底上げが進んだ。

戦後の高度成長期には、フレームやハンドル、ブレーキなど自転車部品を製造する工場が市内に260社あったとも伝えられ、自転車産業の一大集積地だった。当時から、欧米のスポーツバイクなど品質が求められる自転車を支える部品で、技術力を発揮し、世界を席巻。現在、新型コロナウイルス感染拡大を受け、アウトドレジャーの中心コンテンツとして、世界的なサイクリングブームが到来し、市場は急成長している。

昆布

北海道で採れた昆布が、北前船で堺に運ばれて、大消費地であった大阪や京都に加工品として供給されたのが起りだ。かつては日本海側の港に陸揚げされていた昆布だが、17世紀になって、瀬戸内海経由で堺に至る西回り航路が開かれたことで、堺に昆布加工業者が集積し始めた。最も発展していたのは戦前で、市内には約150件の加工業者があったと言われる。

堺の昆布加工品は「とろろ」と「おぼろ」がメインだ。複数の昆布を重ね、機械で大量に生産できる「とろろ昆布」に対して、「おぼろ昆布」は1枚の昆布を薄く削るため、手す職人の技術が欠かせない。地理的な要因に加えて、優れた刃物の産地であることも昆布加工品の産地として発展した一因だと指摘されている。

近年は、食の多様化が進んでおり、昆布加工品は若年層への訴求が課題。料理に使いやすい商品などの開発に取り組み、市場拡大を目指している。

タオル

タオルの国内三大産地の一つに挙げられる南大阪「泉州」地域。日本のタオルの発祥地でもある。1887年に現在の泉佐野市で作られたのが起源とされる。

泉州タオルは発祥以来一貫して、織った後で「晒し」の工程を入れる「後晒(あとごらし)製法」を用いて作られている。タオルの製造工程では、織りやすくするために、綿糸にワを塗って滑りやすくしているが、「後晒」することでワや付着物を洗い流すことができ、吸水性を良くできるのだという。

近年、化学薬品を使用しないタオルづくりや産地を挙げてブランディング活動にも取り組む。職人のこだわりを訴求した高付加価値品の提案やアンテナショップの展開で、ファン層も広がっている。

戦前から繊維産業が主力産業だった南大阪地域では、タオルや毛布、敷物など品目別に製造業者の集積地が異なるのも特徴的だ。

線香

香りをたしなむ文化は平安時代以前からあり、堺が貿易拠点として繁栄した15世紀後半には、沈香・白檀といった香料が交易品として取引されていた。線状にした香に直接、火をつける「線香」は、16世紀に中国から製法が伝えられた。国内では堺で製造が始まったと言われている。東南アジア方面から各種香木など、さまざまな原料が運ばれ、職人の試行錯誤によって調合技術が確立された。

堺の線香は、乾燥させたタブノキの皮を粉状にした基材に、香料を調合して作られている。特に栄えたのは、江戸時代後半から戦前にかけてで、国産線香の大半を担っていたと推定されている。絶妙な調合で「香りの芸術品」とも称賛された堺の高級線香は、人々の暮らしを彩ってきた。

近年は生産委託の活用で、堺産は減少したものの、堺に本社を置く線香メーカーは、新たな香りの開発やブランド戦略、医療用途などの市場開拓に積極的に取り組んでいる。

ASAHI 提案シリーズ

高耐食
Highly Anti-corrosion

新熱処理技術によって
従来材料より耐食性を大幅に向上



ステンレス製軸受箱(SUS304相当)と合わせてご提案致します。

耐食
Anti-corrosion



プラスチック
ハウジングユニット

旭精工株式会社 ●東京支社 TEL(03)3471-9441 ●北日本支店 TEL(022)283-1431
 ●名古屋支社 TEL(052)211-3001 ●広島支店 TEL(082)244-2730
 ●大阪支社 TEL(06)6583-3731 ●福岡支店 TEL(094)244-6386
 ●仙台支店 TEL(022)273-0058 ●金沢支店 TEL(076)262-9890
 ●西日本支店 TEL(093)873-0801 ●高松支店 TEL(087)866-9888
 URL: http://www.asahi-seiko.co.jp

FYH 耐食ステンレスユニット



耐食性がアップ
なめらかな表面

FYH株式会社 TEL: 587-0932 大阪府堺市東区平尾2-306
 TEL: 072-261-3750 FAX: 072-261-4173 fyh.co.jp

堺刃物 青木刃物製作所

～堺の刃物で世界を変える。伝統は変えずに。～

代表取締役 青木孝浩

〒590-0933 大阪府堺市堺区材木町西1-2-28
 TEL: 072-229-3737 FAX: 072-228-1728
 URL: https://aoki-hamono.co.jp/

JAF 高機能設計・小ロット特殊形ボールベアリング

株式会社 藤野鉄工所

本社・工場 〒590-0941 堺市堺区材木町西3丁1-3-6

堺刃物 和泉利器製作所

創業文化二年

本社営業所 〒590-0934 堺市堺区九段町東1丁目5番5号
 TEL: 072(238)0888 FAX: 072(229)9221
 資料館 〒590-0934 堺市堺区九段町東1丁目3番3号
 臨海工場 〒592-8352 堺市西区築港浜寺町西2丁目2番地
 庖丁・鉄・台所用品 https://www.sakai-tohji.co.jp/

堺打刃物 永田刃物

いっ かん した だ つ な
 刀匠 一 竿 子 忠 綱 本 舗

有限会社 永田刃物
 本社 〒590-0953 大阪府堺市堺区甲斐町東1丁目4番4号
 TEL: 072(232)2921代 FAX: 072(222)1948
 工場 〒590-0930 大阪府堺市堺区柳之町西3丁目8番3号

古式鍛練の技、近代技術の粋



写真: 鍛造ダマスカス
 ペティナイフ 135mm・三徳包丁 180mm

株式会社 山崎刃物製作所 〒590-0937 堺市堺区宿屋町西1丁目2-21
 TEL: 072(228)3335 FAX: 072(228)3352
 E-mail: yh@yamawaki-hamono.co.jp

当社の熱プロセス技術は刃物鋼の品質向上に貢献しています
 ISO 9001・14001・13485認証取得

真空熱処理、イオン窒化処理
 おかげさまで創業42周年を迎えました

八田工業株式会社

本社 〒599-8265 堺市中区八田西町2丁目18番40号 TEL: (072)277-7227(代)
 https://www.hatta.co.jp/ FAX: (072)277-8960

あらゆる部分品をつくる
 http://www.k-n-k.co.jp
 E-mail: knk@k-n-k.co.jp

絹川ネジ工業株式会社

〒690-0006 大阪府堺市東区藤原町2丁目1番1号
 TEL: (072)238-5001代 FAX: (072)238-5003

昆布のおいしさを届けたい

とろろ昆布小分けタイプ
 ほんのり昆布を入れるだけ!

株式会社 松本 (直売店)
 本社・営業本部 〒590-0022 大阪府堺市堺区中三丁目4丁2-26
 TEL: 072-229-2001 FAX: 072-229-2002
 函館工場 〒040-0076 北海道函館市浅野町5番2号
 TEL: 0138-43-3275 FAX: 0138-43-8413
 URL: http://www.matsumoto-kombu.jp/

純銀の糸「ニューファン®」使用 大阪泉州産製

がーせのたおる

泉州タオル
 発売元 有限会社 東産業 TEL: (072)431-3811
 大阪府泉佐野市王子682 FAX: (072)431-4641
 製造元 山野タオル工場

日本製 綿100%

泉州すかし染めタオル

○使って良さが分かる吸水性!
 ○濡れると柄が鮮やかに浮き上がります。

菊タオル工場 〒598-0014 大阪府泉佐野市美町2-4-6
 http://www.kiku-towel.com TEL: 072-464-2339代 FAX: 072-464-1462

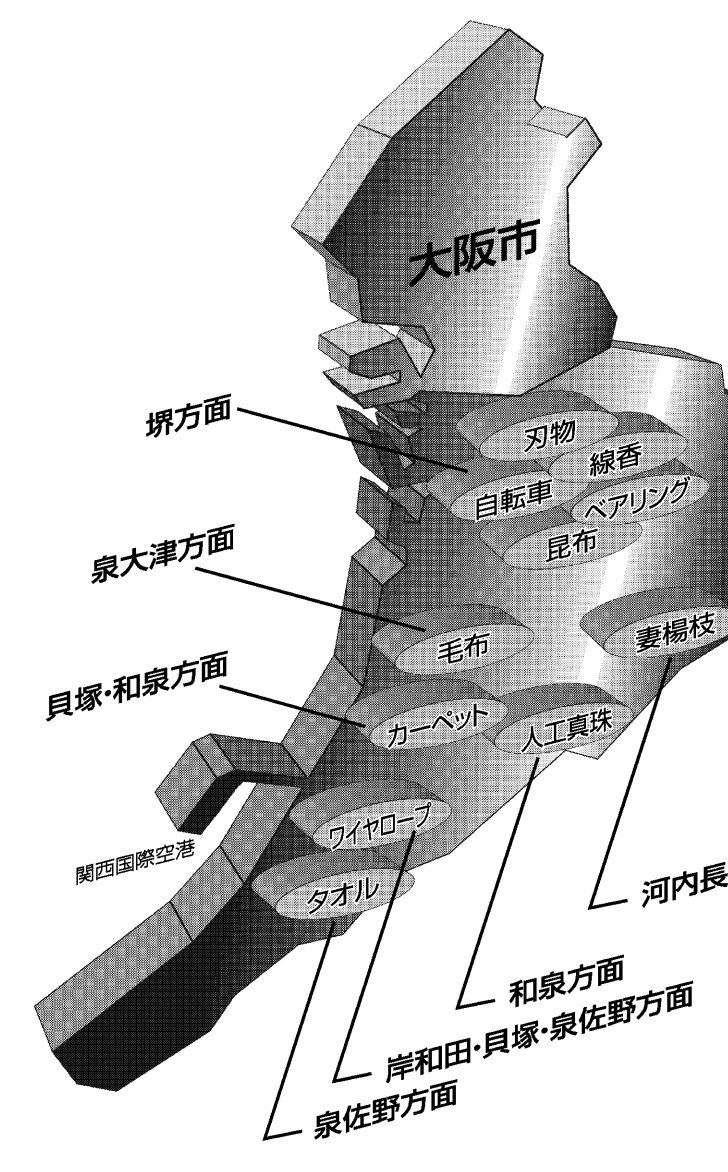
名香 薫 くんすい 翠

安政年間復刻版

香

創業享保年間
泉野晴明堂
 本社 〒590-0952 堺市堺区市之町東6丁目2-15
 TEL: (072)232-0405代 FAX: (072)233-7645

南大阪の主な地場産業



地場産業

歴史と品質で世界に誇る南大阪の